

# 平成動物病院通信

Special Edition

もっと一緒に楽しもう!

Heisei News

甲状腺の病気について

Autumn  
October  
2010



## information

### ★パピークラスのご案内★

毎週木曜日のPM1:15~2:15に  
開催しています。



参加費5,000円で全4回コースとなっております。

仔犬の教育と飼い主さんと犬とのよりよい関係を築く事を目的として  
おります。予約や詳しい内容はスタッフまでお尋ね下さい。また、ペッ  
トカウセリング(火・木・日の午後、予約制:1時間1,000円)も設けてお  
りますので、是非ご利用下さい。

### トリミングの予約を 受け付けています

トリミング専用電話  
(0568) 36-1391

\* 当院で診察・ワクチン接種をしている  
動物に限ります。

トリマーが電話に出ます。  
いろいろご相談下さい。



### 平成動物病院

〒486-0955

愛知県春日井市二子町2-1-1

TEL (0568) 36-1236

FAX (0568) 36-1237

院長 平島 康博

#### ■診察時間

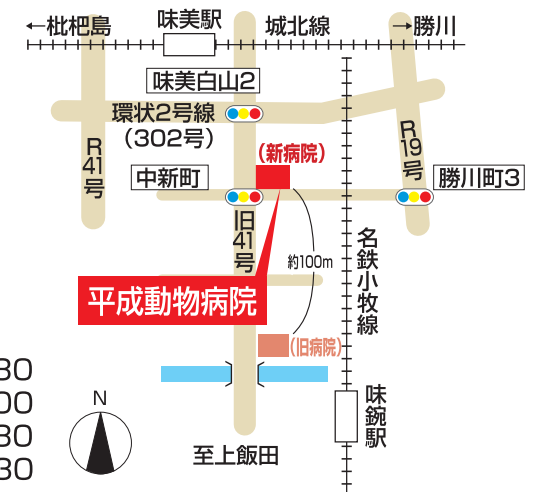
平日: 午前●9:30~11:30

午後●3:00~7:00

土・日祭日: 午前●9:00~11:30

午後●2:00~5:30

※年中無休



\* 病院のホームページをもうご覧になりましたか\*

<http://www.heisei-vet.com>

診断

臨床症状とともに血液検査(高脂血漿)や特殊検査として甲状腺ホルモン(T4)・甲状腺刺激ホルモン(TSH)・遊離甲状腺ホルモン(fT4)を測定します。

治療

測定し異常値が認められた場合は合成甲状腺ホルモン製剤(サイロキシン)を投薬し、低下した甲状腺機能を補います。基本的に治療は生涯行います。



猫の甲状腺機能亢進症

原因

猫では甲状腺機能亢進症が多く認められます。高齢の猫では一般的で、ほとんどは良性的甲状腺腫ですがまれに悪性の腫瘍によるものもあります。

症状

甲状腺ホルモン(T4)は体を活動的にするホルモンですから、過剰分泌されることによって、異常な興奮、食欲増加に反しての体重減少、多飲多尿、頻脈、被毛の悪化、心筋症の原因にもなります。性格が攻撃的に変化し目がガラガラしていることが多くなったと感じる飼い主さんも多いようです。



痩せている猫



興奮した猫

診断

特徴とする症状は少なく、高齢の猫では血液検査とともに甲状腺ホルモン(T4)を測定し診断します。まれに肥大した甲状腺が触知することが可能なこともあります。

治療

異常値が認められれば、甲状腺ホルモン合成阻害薬(メルカゾール)を投薬します。また甲状腺機能亢進症では心筋症も併発していることもあるためXray検査、エコー検査が必要な場合もあります。



最後に

この甲状腺疾患は高齢の犬猫に一般的に発生するので、8才をこえてからの健康診断時に甲状腺の検査をお勧めします。

甲状腺の病気について

甲状腺ホルモンは甲状腺から放出されるホルモンで、ほとんどすべての臓器、細胞にたいして代謝を活性化させるように働きます。犬では甲状腺機能低下症が発生しやすく、猫では甲状腺機能亢進症がみられます。



TRH: 甲状腺刺激ホルモン放出ホルモン  
TSH: 甲状腺刺激ホルモン  
T4・T3: 甲状腺ホルモン

犬の甲状腺機能低下症

原因

甲状腺ホルモン(T4)の分泌不足によって生じます。この病気のほとんどは甲状腺が変性していく自己免疫疾患で、遺伝的な要素もあると考えられています。

症状

甲状腺ホルモンは体内を活動的にするホルモンなので元気がなくなります。具体的には以下のような症状がみられます(赤字は一般的)。

【甲状腺機能低下症における症状】

代謝	元気消失・無気力・活動性の低下・肥満・多飲多尿
皮膚	脱毛・膿皮症・色素沈着・脂漏症・粘液水腫
神経骨格筋	虚弱・運動失調・旋回・顔面神経麻痺・発作
心機能	徐脈・不整脈
血液	貧血・高脂血症・凝固障害
消化管	下痢・便秘



色素沈着



脱毛



乾性脂漏症



粘液水腫